

審査案件の概要（令和6年度（2024.4月～2025.3月））

※学会発表日程については、申請時の予定

受付番号			承認日	審査方法	区分	申請事項	申請者		概要
							所属	氏名	
2024	-	01	2024/4/1	迅速審査	医学研究	日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究（一部変更更新）	整形外科部長	高山 博行	2020年4月1日より参加している「日本整形外科学会症例レジストリー」構築に関する研究」について、責任者変更、関連学会の変更などがあったため審議申請を行う。
2024	-	02	2024/4/10	迅速審査	医学研究	急性下部消化管出血患者のクリニカルアウトカムの実態とその関連因子の解明：多施設共同後ろ向き研究	消化器内科部長	田村 勇	急性下部消化管出血（ALGIB）患者においてエビデンスレベルが低いため、全国52施設でデータを後ろ向きに収集し、そのクリニカルアウトカムと治療に関する因子を明らかにすることを目的とした多施設共同後ろ向き研究に参加する。
2024	-	03	2024/4/10	迅速審査	医学研究	急性下部消化管出血患者のクリニカルアウトカムの実態とその関連因子の解明：多施設共同前向き研究	消化器内科部長	田村 勇	急性下部消化管出血（ALGIB）患者において国内でのエビデンスレベルが低く、特に日本のALGIB診療の特徴を含めた前向きデータ収集からのエビデンス構築が早急に必要であることから実施される前向き多施設共同研究に参加する。
2024	-	04	2024/5/1	迅速審査	医療行為	末梢循環不全による虚血性手指症状に対する硝酸イソルビドテープの使用	皮膚科部長	川田 裕味子	膠原病の末梢循環不全による虚血性手指症状に対し、ガイドラインに従いCa拮抗薬等の投与を行っているが効果不十分な症例がある。このため、日本皮膚科学会の全身性強皮症診療ガイドラインで推奨度2Cとされている手指への硝酸イソルビドテープの適応外使用を申請する。
2024	-	05	2024/5/8	迅速審査	医学研究	発症・受傷後の早期に導入したITB療法－埋め込みの時期における検討－	脳神経外科部長	荒井 篤	第83回日本脳神経外科学会総会（2024年10月16日～18日発表予定） 脳・脊髄障害の急性期における過度の痙縮は転院後の管理やリハビリ、退院後の日常生活の妨げとなる。積極的に発症早期のITB療法の実施における埋め込みの時期について検討し発表する。
2024	-	06	2024/5/10	迅速審査	医学研究	当院の重症頭部外傷に対するモニタリングの現状と課題	脳神経外科部長	荒井 篤	第83回日本脳神経外科学会総会（2024年10月16日～18日発表予定） 最近の当院でのICP指向型治療の現状と課題を検討するため、2018年から2023年にICP（頭蓋内圧）留置した約100症例の合併症や予後等を検討し、報告する。
2024	-	07	2024/5/21	迅速審査	医学研究	骨折関連感染症に対する持続局所抗菌薬灌流（CLAP）の有効性－多施設研究－	整形外科医長	高原 俊介	第147回西日本整形外科災害外科学会にて発表予定（2024年6月1～2日） 骨折関連感染症（FRI）に対して施行された持続局所抗菌薬灌流（CLAP）の有効性を明らかにする。
2024	-	08	2024/5/21	迅速審査	医学研究	関節リウマチ患者に生じた骨関節感染症に対する持続局所抗菌薬灌流	整形外科医長	高原 俊介	第147回西日本整形外科災害外科学会にて発表予定（2024年6月1～2日） 持続局所抗菌薬灌流（CLAP）を施行した10例の関節リウマチ（RA）患者の治療経過を報告する。
2024	-	09	2024/5/21	迅速審査	医学研究	持続局所抗菌薬灌流（CLAP）が骨折関連感染症治療における医療費に与える影響	整形外科医長	高原 俊介	第147回西日本整形外科災害外科学会にて発表予定（2024年6月1～2日） 持続局所抗菌薬灌流（CLAP）は骨折関連感染症（FRI）の有効な治療選択肢の1つとして期待されている。FRIに対して施行された持続局所抗菌薬灌流（CLAP）が医療費に及ぼす影響を明らかにする。
2024	-	10	2024/5/21	迅速審査	医学研究	骨折関連感染症治療に対する持続局所抗菌薬灌流（CLAP）の有効性－多施設研究－	整形外科医長	高原 俊介	第47回日本骨・関節感染症学会にて発表予定（2024年7月26～27日） 持続局所抗菌薬灌流（CLAP）は骨折関連感染症（FRI）の有効な治療選択肢の1つとして期待されている。FRIに対して施行された持続局所抗菌薬灌流（CLAP）の有効性を多施設研究で解析したので報告する。
2024	-	11	2024/5/21	迅速審査	医学研究	炭酸ガス経皮吸収療法による骨癒合促進効果の検証	整形外科医長	高原 俊介	第50回骨折治療学会にて発表予定（2024年6月28～29日） 関節リウマチ（RA）患者の前足部変形に対して施行した中足骨骨切り部におけるCO2療法の骨癒合促進効果を明らかにする。
2024	-	12	2024/5/21	迅速審査	医学研究	骨折関連感染症治療の有効性に持続局所抗菌薬灌流（CLAP）が及ぼす影響－多施設研究－	整形外科医長	高原 俊介	第50回骨折治療学会にて発表予定（2024年6月28～29日） 骨折関連感染症（FRI）は治療にしばしば難渋し、治療成績の向上が期待される。持続局所抗菌薬灌流（CLAP）はFRIの有効な治療選択肢の1つとして期待されるが、FRI患者の多様な患者背景、感染経過、治療因子が治療法の評価を困難にさせており、より多くの症例を集積した研究での有効性の解析が必要である。多施設研究の結果を報告する。
2024	-	13	2024/5/21	迅速審査	医学研究	人工知能による大腿骨転子部骨折の骨折型分類	整形外科医長	高原 俊介	第50回骨折治療学会にて発表予定（2024年6月28～29日） 大腿骨転子部骨折の治療において、骨折型分類に基づいた戦略が必要である。単純レントゲン画像（Xp）による分類での検者間一致率は引き区、本邦においてはCT撮像が頻用されるが、Xpの診断精度の向上は重要な課題であることから、人工知能による大腿骨転子部骨折の骨折型分類の診断能を明らかにする。

審査案件の概要（令和6年度（2024.4月～2025.3月））

※学会発表日程については、申請時の予定

2024	-	14	2024/5/21	迅速審査	医学研究	Fleck signを伴った踵骨骨折の2例3肢	整形外科医長	高原 俊介	第50回骨折治療学会にて発表予定(2024年6月28～29日) 足関節外果外側に認められる剥離骨折(fleck sign)は腓骨筋腱脱臼を示唆する所見である。腓骨筋腱脱臼は足関節外傷の0.3～0.5%に生じる比較的稀な損傷とされ、踵骨骨折との合併例の報告は少ないことから、報告する。
2024	-	15	2024/5/23	迅速審査	医学研究	日本骨折治療学会寛骨臼骨折データベース(ORAF)の登録事業	整形外科医長	高原 俊介	現在、日本には寛骨臼骨折観血的手術のデータ登録がないため、症例のデータ登録を行う(多施設前向き共同研究)
2024	-	16	2024/5/23	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	精神科	長妻 渉	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬が投与されることが多い。また当院では手術や肺炎等のため経口投与困難な事例も多い。このため有効性の期待できるロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	17	2024/5/30	迅速審査	その他	効率的なECPR導入に向けた取り組み	初療室	久保 拓也	第26回日本救急看護学会学術集会(2024年11月18～19日)発表予定 ECPR症例における看護師の役割を明確にし、ECMO導入に向けた円滑な行動が取れるよう行った取り組みを報告する。
2024	-	18	2024/5/31	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	消化器内科医長	安富 栄一郎	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	19	2024/6/13	迅速審査	医学研究	共同研究への参加	脳神経内科部長	一角 朋子	国立国際医療研究センターが行う「難病のゲノム医療推進に向けた全ゲノム解析基盤に関する先行的研究開発」(～2026年3月31日)に参加する。
2024	-	20	2024/6/19	迅速審査	医学研究	炭酸ガス経皮吸収療法が関節リウマチ患者における前足部形成術後の創治癒遅延に与える影響についての検討	リウマチ科・整形外科医長	上藤 淳郎	第52回日本関節病学会(2024年7月19日～20日)発表予定 炭酸ガス経皮吸収療法(Co2療法)を含めた手術後遅延発生に影響する因子を多変量解析にて検討し報告する。
2024	-	21	2024/6/27	迅速審査	その他	兵庫県立大学大学院社会科学部研究科卒業論文(商大ビジネスレビュー)執筆のための研究	臨床工学課長	大上 哲也	経営向上及び効果的なタスクシフトの実践に向け、県立病院臨床工学技士を対象とした業務分析と他職種が臨床工学技士に求める業務調査を行う。
2024	-	22	2024/6/27	迅速審査	医学研究	当院の集中治療室におけるAUC評価を用いたパソマイシンTDMの現状とAKIの発現状況	薬剤部副主任	山口 泰大	第52回日本集中治療医学会学術集会(2025年3月14日～16日)発表予定 AUC評価を用いたVCMのTDMを行った患者を対象とし、当院における現状とAKIの発現状況を電子カルテを用いて後ろ向きに調査し報告する。
2024	-	23	2024/7/19	迅速審査	医学研究	自己免疫性肝炎におけるステロイド及び併用薬剤の治療反応性と線維化に関する検討	消化器内科医師	尹 聖哲	自己免疫性肝炎(AIH)はステロイドが著効し予後良好な疾患であるが、治療反応不良例やステロイド減量中の再燃例では他の併用薬剤が必要ことが多く、線維化進展の検討はほとんどないことから、これらに影響する因子を検討する。
2024	-	24	2024/5/23	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	整形外科専攻医	藤原 悠	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬が投与されることが多い。また当院では手術や肺炎等のため経口投与困難な事例も多い。このため有効性の期待できるロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	25	2024/8/26	迅速審査	医学研究	共同研究への参加	脳神経内科部長	一角 朋子	国立国際医療研究センターが行う「難病のゲノム医療推進に向けた全ゲノム解析基盤に関する先行的研究開発」(～2027年3月31日)に参加する。
2024	-	26	2024/8/22	迅速審査	医療行為	BCG(イムプラダー)の腎盂尿管注入	泌尿器科部長	大場 健史	膀胱尿路皮内癌に対して適用のあるBCGを、腎盂尿管上皮内癌に使用する。
2024	-	27	2024/8/26	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	消化器内科	森口 知恵	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	28	2024/9/3	迅速審査	医学研究	演題名 抗生剤含有リン酸カルシウムセメントとヨードコーティングscrewにて治療した脊椎固定術後の難治性感染の2例 発表予定学会:第143回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 発表予定日:令和6年10月4日	整形外科部長	高山 博行	脊椎椎体間固定後の難治性感染に対して、抗生剤含有リン酸カルシウムセメント(CPC)とヨードコーティングscrew再固定にて治療した2例を報告する。

審査案件の概要（令和6年度（2024.4月～2025.3月））

※学会発表日程については、申請時の予定

2024	-	29	2024/9/3	迅速審査	医学研究	演題名 アトピー性皮膚炎により発症したと考えられる頸椎の陳旧性化膿性脊椎炎により脊髄症を発症した1例 発表予定学会:第143回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 発表予定日:令和6年10月5日	整形外科	井上 諒真	アトピー性皮膚炎により、上肢筋力低下で発症し、術後の組織検査で陳旧性化膿性脊椎炎であることが判明した症例を報告する。
2024	-	30	2024/9/3	迅速審査	医学教育	兵庫県立病院診療放射線技師会における放射線画像および読影レポート(一部)の活用について	放射線技師長	梅宮 清	兵庫県立病院放射線技師会業務推進委員会業務支援ワーキンググループにおいて、STAT画像を含むパニック画像報告、IDSニュースの発行を行っている。令和6年度の本活動において匿名化した放射線画像と読影レポートの一部の提供について、審議をお願いしたい。
2024	-	31	2024/9/6	迅速審査	医学教育	院内看護師のACP支援に関する現状と課題	看護部	関 典子	院内看護師のACP支援の現状調査と課題を明確化し、教育ニーズに従った教育支援を行い、看護師の意思決定支援の実践能力を高める。
2024	-	32	2024/9/6	迅速審査	医学教育	終末期がん患者の療養支援への取り組み 退院前後訪問・退院後電話訪問の推進 他5題	看護部長	中尾 美喜子	第19回兵庫県立病院学会において、新たな介入を伴わない学会発表を行う。
2024	-	33	2024/9/6	迅速審査	医学教育	第26回日本褥瘡学会学術集会での発表内容	看護部	仲上 直子	当院の褥瘡有病率、推定発生率等を用い「病院」あらの立場として褥瘡治療の知見と展望を発表する。
2024	-	34	2024/9/18	迅速審査	医学研究	反転性毛包角化症におけるFGFR3及びPIK3CA遺伝子変異解析研究	病理診断科	小林 杏奈	兵庫県立センター（主任研究機関）と共同し、IFKの症例に対して、脂漏性角化症で知られるFGFR3及びPIK3CA遺伝子変異を解析することで、IFKと脂漏性角化症の異同、臨床病理学的な特徴について明らかにする。
2024	-	35	2024/9/18	迅速審査	医学研究	核酸アナログ内服例における肝硬度測定の意味（2024年12月7日、第45回日本肝臓学会東部会での発表予定）	消化器内科医長	安富 栄一郎	NA内服症例で超音波下に肝硬(LS)測定を行い、その臨床的意義を検討する。本研究の実施と成果の学会発表についても審議をお願いしたい。
2024	-	36	2024/9/12	迅速審査	医学研究	2024年9月13日第53回リウマチの外科学会にて発表 演題名:自宅生活していた大腿骨近位部骨折患者の退院後経過に寄与する因子についての検討	リウマチ科 整形外科医長	上藤 淳郎	2024年9月13日第53回リウマチの外科学会にて発表する。
2024	-	37	2024/9/13	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	消化器内科医長	白川 裕	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	38	2024/10/4	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	脳神経内科医長	下村 雅浩	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	39	2024/10/11	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	消化器内科	妹尾 寛也	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	40	2024/10/16	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	消化器内科	田村 勇	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	41	2024/10/17	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	脳神経内科専攻医	古結 裕之	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	42	2024/10/24	迅速審査	医学研究	『ECPRを施行した院外心停止蘇生後に対する体温管理療法のクラスターランダム化クロスオーバー試験』 上記、全国の多施設による共同研究への参加	救急科医長	田中 敦	院外心停止に対してECPRが施行された患者の体温管理療法として、低体温療法が平温療法と比較して生存率を改善するという仮説を検証する。
2024	-	43	2024/10/31	迅速審査	医学研究	中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者において、ベドリズマブ投与前の炎症部位における対象タンパク要請細胞の割合と投与後(22週)時点での臨床的寛解率との関係を調査する。後向き観察研究。他施設共同研究	消化器内科部長	埴本 喜雄	中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者において、ベドリズマブ投与前の炎症部位における対象タンパク要請細胞の割合と投与後(22週)時点での臨床的寛解率との関係を調査する。

審査案件の概要（令和6年度（2024.4月～2025.3月））

※学会発表日程については、申請時の予定

2024	-	44	2024/10/25	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	消化器内科専攻医	河原 慎一郎	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	45	2024/11/8	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	脳神経内科医長	下村 雅浩	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	46	2024/11/18	迅速審査	医学研究	B型肝炎ウイルス検査が行われた患者を対象とした検査陽性率と再活性化についての観察研究	消化器内科部長	廣畑 成也	B型肝炎検査が行われた患者背景を後方視的に検討することによって、通院患者におけるHBV感染罹患状況と感染既往者の陽性率の年次推移を検討する。神戸大学医学部付属病院検査部との共同研究。
2024	-	47	2024/11/25	迅速審査	医学研究	症例報告	循環器内科部長	岩田 幸代	日常臨床で経験した稀な疾患を「内科学会近畿地方会 研修医セッション」で発表する。
2024	-	48	2024/11/27	迅速審査	医学研究	MASHにおける肝機能改善の目標と関連因子および長期経過における線維化に関する検討	消化器内科	尹 聖哲	MASHは未だ有効な薬物治療がない予後不良な疾患の一つである。肝機能改善のゴールを設定し、これに関連する因子と長期経過において肝線維化と予後が改善するかを検討する。また、成果を学会発表する。
2024	-	49	2024/12/16	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	外科部長	中川 暁雄	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	50	2024/12/13	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	整形外科医長	琴浦 健	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	51	2025/1/24	迅速審査	医学研究	関節リウマチ患者におけるポリファーマシー調査	薬剤部 課長補佐	櫻井 朋子	演題名:関節リウマチ患者におけるポリファーマシー調査(予定) 発表予定学会:第10回リウマチセンター合同カンファレンス 発表予定日:2025/2/28(金)
2024	-	52				廃案			
2024	-	53	2025/2/14	迅速審査	医学研究	骨折・骨癒合不全・骨髄炎の臨床経過	整形外科医長	高原 俊介	平成31年2月7日付で承認された研究課題(受付番号30-30)の研究期間延長に伴う研究計画の修正
2024	-	54	2025/2/14	迅速審査	医療行為	整形外科領域における局所抗菌薬療法による感染の制御	整形外科医長	高原 俊介	令和元年8月9日付で承認された研究課題(受付番号2019-08)の研究期間延長に伴う研究計画の修正
2024	-	55	2025/2/14	迅速審査	医療行為	炭酸ガス経皮吸収による骨・軟部組織治療	整形外科医長	高原 俊介	令和元年8月9日付で承認された研究課題(受付番号2019-09)の研究期間延長に伴う研究計画の修正
2024	-	56	2025/2/18	迅速審査	医療行為	熱傷に対する医療ハチミツの使用	救急科部長	國重 千佳	熱傷創に対するハチミツの有効性に関しては数多くの報告があり、日本でも使用している施設がある。副作用も少なく患者への影響としては低リスクと考えられるため、患者の全身状態改善のために、医療ハチミツを使用したい。
2024	-	57	2025/2/17	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	皮膚科 専攻医	廣田 一貴	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、プロナセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	58	2025/3/12	迅速審査	医学研究	hinotori™サージカルロボットシステムを使用したロボット支援前立腺全摘の効果と安全性の評価を目的とした多施設共同単群試験	泌尿器科部長	大場 健史	神戸大学医学部付属病院との共同研究。既存のデータを用いて、hinotori™を使用したロボット支援前立腺全摘除術の効果と安全性を評価する。
2024	-	59	2025/3/19	迅速審査	医学研究	2024年4月24日第69回日本リウマチ学会総会 学術集会にて発表 演題名:自宅生活していた大腿骨近位部骨折患者の退院後経過に関連する因子についての検討	リウマチ科 整形外科医長	上藤 淳郎	第69回日本リウマチ学会総会学術集会にて発表する。

審査案件の概要（令和 6 年度（2024.4月～2025.3月））

※学会発表日程については、申請時の予定

2024	-	60	2025/3/14	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	整形外科	藤原 悠	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、ブロンセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。
2024	-	61	2025/3/31	迅速審査	医学研究	MASHにおける肝機能および肝脂肪化の改善は肝線維化改善の治療指標となりうるか	消化器内科	尹 聖哲	2025年10月30日日本肝臓学会(大会)にて発表予定
2024	-	62	2025/3/27	迅速審査	医療行為	適応外使用薬の採用について(せん妄)	糖尿病・内分泌内科医長	合田 菜穂	認知症及びせん妄を合併する患者数は増加傾向にあるものの、現在、せん妄患者に適応となる薬は数が少なく、抗精神病薬等が投与されることが多い。当院では採用はないものの、ブロンセリン貼付剤(ロナセンテープ)は研究も多く有効性があることから、ロナセンテープの貼付でせん妄抑制を行いたい。